

教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること

1. 本学で取得できる教員免許状の種類

| 学部 | 学科 | 免許教科 | 免許状の種類 |
|------|--------|------|-------------|
| 教養学部 | 地域教養学科 | 英語 | 中学校教諭一種免許状 |
| | | | 高等学校教諭一種免許状 |

※なお、明星大学通信教育部との業務提携により、明星大学通信教育課程の科目等履修生として在籍し、提携プログラムを利用することで、本学卒業時に小学校教諭一種免許状を取得することができる。

2. 教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画

教養学部地域教養学科は、専門教育に裏づけられた確かな基礎学力をもち、社会人基礎力と汎用的技能を身につけたうえに、グローバルな意識を兼ね備えて、これからの地域社会を支えることのできる中核的人材、すなわち「地域基盤型職業人」を育成することを目的とする学科である。この目的を達成するために、

- 専攻分野（英語・心理学・社会学）それぞれの基礎的な知識を着実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決する能力
- 専攻分野それぞれの基本的スキルを地域社会に貢献するために実践する能力
- 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわしい関心・意欲・態度を示す能力

等を修得させることを教育目標とし、卒業後、復興事業の推進、公共政策等の立案、地域産業の活性化、教育の充実、情報・文化の発信等、地域で必要とされている分野において幅広く貢献できる人の育成を実践していく。

このような趣旨のもとで、特に「英語科」の教職課程を設置するのは、地域教養学科「国際コミュニケーション」メジャーで培われる英語運用能力や国際社会・異文化への理解力が、単に地域の産業界や自治体の現場における即戦力としてのみ求められるものではないからである。震災及び原発事故の影響によってさまざまな課題を抱えるいわき市や福島県をはじめとする地域にあっては、次世代の子供たちのコミュニケーション能力を向上させ、なかでも最も強力なコミュニケーションツールとしての英語を使いこなす力を身につけさせることこそが、喫緊の課題となっている。

本学科の教職課程は、この課題に応えるべく、学科カリキュラムの幅広さも活かしながら、国際共通語としての英語の運用能力、及びグローバルな意識をもって地域や世界とのコミュニケーションを図る能力を4年間かけて体系的・順次的に修得・向上させる。このことにより、課程を修了した学生がそれらの能力を中学校や高等学校の英語科の教員として自信をもって「実践」「活用」して、地域の未来を担う子供たちに、英語力そのもののみならず、それをどのように役立てるかについての意識を育む教育を行っていくことを期して設置するものである。

教育課程の編成においては、教員としての資質能力、英語運用能力、グローバルな意識を、いずれも学科専門教育の一環として育成することを趣旨としており、本教職課程における教科と教職に関するすべての科目を学科専門教育科目と位置づけている。

また、「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」（平成25年12月）にも示されているように、時代に即応した英語教育の重要性は、地域社会にとってのみならず、

今日の我が国においてますます高まっている。本学の教職課程においても、同計画に示されている「グローバル化に対応した教育環境づくり」等を見据えながら人材養成を行っていく。一つの取り組み例として、小中高を見通した英語教育が実践できる人材を養成するために「児童英語教育論」や「英語教材研究」といった科目を配し、初等教育における外国語活動と中等教育における英語科の連携等にも配慮するなどの教育課程編成上の工夫を行う。

なお、中高一貫、中高連携の教育に対応することなどを踏まえ、中学校及び高等学校の教員免許状の同時取得を前提とした履修指導を行う。

①教養学部地域教養学科（中学校教諭一種免許状（英語））

いわき明星大学及び教養学部地域教養学科の教員養成の理念、並びに地域教養学科の英語科教職課程の設置趣旨に基づき、中学校教諭一種免許状（英語）取得希望者に対し、深い洞察力、実践的指導力、教育職としての使命感、生徒とともに学び続ける姿勢等を涵養する。

具体的には、英語学、英米文学、英語コミュニケーション、異文化理解の各分野を学修するとともに、学習指導要領の目標や内容を踏まえながら初等教育及び後期中等教育との連携・接続（特に小学校段階における外国語活動の理解）、英語科の指導法、言語活動の充実、特別活動、生徒の発達、教育課程の編成、学級経営、教育制度、ICTの活用、道徳教育、キャリア教育、特別支援教育といった内容を学び、教員として最小限必要な資質能力を獲得する。

また、教育実習等においては地域の中学校の協力のもと、自ら課題を設定し、教育現場における実践とその省察を通じて、解決に向けた探究的活動を行いながら、実践的指導力と生涯にわたり学び続ける姿勢と地域に貢献する意欲とを兼ね備えた地域基盤型の教員を養成する。

②教養学部地域教養学科（高等学校教諭一種免許状（英語））

いわき明星大学及び教養学部地域教養学科の教員養成の理念、並びに地域教養学科の英語科教職課程の設置趣旨に基づき、高等学校教諭一種免許状（英語）取得希望者に対し、深い洞察力、実践的指導力、教育職としての使命感、生徒とともに学び続ける姿勢等を涵養する。

具体的には、英語学、英米文学、英語コミュニケーション、異文化理解の各分野について深く専門的に学修するとともに、学習指導要領の目標や内容を踏まえながら前期中等教育との連携・接続、英語科の指導法、言語活動の充実、特別活動、生徒の発達、教育課程の編成、ホームルーム経営、教育制度、ICTの活用、キャリア教育、特別支援教育といった内容を学び、教員として最小限必要な資質能力を獲得する。

また、教育実習等においては地域の高等学校の協力のもと、自ら課題を設定し、教育現場における実践とその省察を通じて、解決に向けた探究的活動を行いながら、実践的指導力と生涯にわたり学び続ける姿勢と地域に貢献する意欲とを兼ね備えた地域基盤型の教員を養成する。